

2022 年度第 3 回理事会資料

日時：令和 4 年 6 月 25 日（土）13：50～15：20

場所：オンライン

出席者：三橋、安原、平川、藤嶋、田中、小枝、上谷、笹原、算用子、小山内啓、菩提寺、
秋元、慶長、佐々木、天坂、新谷、落合、藤原、小山内隆

書記：金谷、森山

【報告事項】

1. 会長報告

- 6 月 1 日（水） 2022 年度新入会オリエンテーション
- 6 月 6 日（月） 小川かつみ氏決起集会の打ち合わせ
- 6 月 7 日（火） 三士会合同研修会事業報告会
- 6 月 11 日（土） OT 協会 47 委員会
- 6 月 17 日（金） 第 3 回理事会前三役会議

2. 各部局委員会報告

<事務局>

[会員数（6 月 23 日現在）]

正会員数合計 993 名（内、2022 年度入会者 24 名）

正会員所属施設数合計 207 施設 賛助会員数合計 9 施設

（内訳）

ブロック名	正会員数	施設数	ブロック名	正会員数	施設数
弘前ブロック	289	49	西北五ブロック	64	17
八戸ブロック	274	66	上十三ブロック	73	23
青森ブロック	262	42	下北ブロック	31	10

※会費未納者 46 名

[渉外活動（4 月 8 日～6 月 23 日）]

・委員等推薦

依頼元	委員等名称	委員名
東北町長	東北町認知症初期集中支援チーム検討委員会 委員	和田 広美
大館・東地区 高齢者支援センター福寿草	地域ケア個別会議 委員	泉田 康志
横浜町長	地域ケア個別会議 委員	菩提寺 玲子
五所川原市長	ケアプラン点検 助言者	天坂 宗一朗 三橋 武信
平川市長	令和 4 年度平川市ケアプラン点検 助言	金谷 圭子

	者	
五戸町長	地域の「通いの場」を活用した高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業 講師	泉田 康志
田面木・館・豊崎地区 高齢者支援センター ハビネスやくら	地域ケア会議 委員	笹原 秀平
青森県精神保健福祉協会	青森県精神保健福祉協会 理事	三橋 武信
大館・東地区 高齢者支援センター福寿草	介護予防教室 講師	神保 直人 小國 夏実 松森 和義 泉田 康志
白銀・湊地区 高齢者支援センター	地域ケア個別会議 委員	泉田 康志 下村 繭子 大塚 基永 西山 建
白銀南・鮫・南浜地区 高齢者支援センター瑞光園	地域ケア会議個別会議 委員	米村 和貴 金堀 友紀子 阿世知 知子
白銀南・鮫・南浜地区 高齢者支援センター瑞光園	介護予防教室 講師	泉田 康志
是川・中居林地区 高齢者支援センター修光園	令和4年度「地域ケア会議（個別会議）」 委員	下村 繭子 泉田 康志 大泉 慶洋 石井 幸美 小國 夏実
下長・上長地区 高齢者支援センターはくじゅ	地域ケア会議個別会議 委員	大塚 基永
平川市長	介護予防事業 講師	平川 裕一
青森県立弘前第二養護学校	外部専門家を活用した専門性向上研修 講師	秋元 真樹子
五所川原市長	令和4年5月地域ケア推進会議	天坂 宗一郎
八戸地域 介護支援専門員協議会	八戸地域介護支援専門員協議会 特別理事	藤嶋 聖子
平川市健康福祉部 高齢介護課長	青森県作業療法士会によるケアマネジメント支援 委員	平川 裕一
青森県立弘前第一養護学校	OT 訪問支援 講師	秋元 真樹子
弘前市 北部地域包括支援センター	地域ケア個別会議 委員	上谷 英史
三沢市長	令和4年度介護予防教室 講師	菩提寺 玲子 太田 康介
青森市 子育てサポートセンター	ファミリー講座「うとう塾」 講師	秋元 真樹子
青森県医師会	青森県医師会健やか力推進センター推進 協議会 委員	平川 裕一
弘前市 東部地域包括支援センター	弘前市東部地域包括支援センター地域ケ ア個別会議 委員	平川 裕一
三沢市長	令和4年度三沢市地域ケア会議 委員	佐倉 雄喜 菩提寺 玲子 関橋 克矢 小笠原 牧
田面木・館・豊崎地区 高齢者支援センター	地域ケア会議 委員	阿世知 知子

ハビネスやくら		
青森県立弘前第一養護学校	研修会 講師	秋元 真樹子
青森県立弘前第二養護学校	外部人材の活用による障害に対応した専門性向上研修 講師	秋元 真樹子
青森地域介護支援専門員連絡協議会	青森地域介護支援専門員連絡協議会役員	石田 侑

・後援等

依頼元	後援内容	開催日
OneFeels(ワンフィールズ)	「脳卒中と夏祭り」の後援	2022/8/21

[2022年度新入会オリエンテーションについて]

新入会オリエンテーションについて、以下の内容で開催した。出席者は9名であった。

日 時 : 2022年6月1日(水) 19:00~20:10

方 法 : オンラインミーティングアプリ Zoom を使用

内 容 : 1. 開会の辞

2. 三役挨拶

会 長 三橋 武信

副会長 安原 清文

副会長 大塚 基永

副会長・事務局長 平川 裕一

3. 本会の概要の説明

副会長・事務局長 平川 裕一

4. 本会の研修制度の説明 教育部担当理事 小枝 周平

5. 質疑応答

6. 閉会の辞

※今年度：出席者 9名／欠席者 0名／無回答 3名（2022年度新入会者 12名）

※前年度：出席者 31名／欠席者 2名／無回答 27名（2021年度新入会者 60名）

※7月中にも実施予定

[文献権利許諾使用料について]

株式会社サンメディアより、文献権利許諾使用料が2件 330円との報告があった。

[包括利用著作権使用料について]

株式会社メテオより、包括利用著作権使用料 5,000円が入金された。

[財務担当]

6月24日 会議（予定）

<学術部>

- 1) 第32回東北作業療法学会の青森県の演題発表者41名に対して機関誌への投稿依頼文、投稿ならびに執筆規定を送付した（6/13）。

- 2) 第 31 卷青森県作業療法研究は投稿数 2 編（症例報告）であり，現在，査読中及び査読者に査読依頼中である。

<教育部>

<教育部業務>

- 5/16・17 1. 今年度活動計画立案 2. ホームページ用研修会案内作成
5/30 1. 今年度活動計画立案 2. 講師依頼文発送
6/6 1. 教育部役割分担 2. 臨床実習指導者講習会開催申請書類作成、発送
6/7 1. 現職者共通研修①準備（資料印刷、発送）

<研修会>

●開催

なし

●申し込みの現状（6/13 時点）

現職者共通研修①

6/19 現職者共通研修①

作業療法の可能性	申込者数	29 名
実践のための作業療法研究	申込者数	29 名
保健・医療・福祉と地域支援	申込者数	31 名
作業療法における協業・後輩育成	申込者数	29 名

現職者選択研修

7/24 MTDLP 基礎① 申込者数 10 名

臨床研修会（ナイトセミナー）

6/17 事例のみかた・事例報告書き方講習会（I 期）	第 1 回	申込者数	31 名
7/7 事例のみかた・事例報告書き方講習会（I 期）	第 2 回	申込者数	17 名
7/28 事例のみかた・事例報告書き方講習会（I 期）	第 3 回	申込者数	17 名

<広報部>

1) ホームページの管理・運営

4/2-6/19

- ・学会・研修会情報：35 件の情報をアップした。
- ・新着情報：5 件の情報をアップした。

2) SNS の活用

- ・Facebook にて 32 件の学会研修会情報を掲載した。

3) 次年度中学校、高校の教諭向けアンケート内容の検討および発送準備

4) 養成校の就職支援状況の情報収集内容の検討

<福利部>

活動なし

<制度対策部>

1) 事業報告

- ・事業名：Long-term care Information system For Evidence (LIFE)の運用についての意見交換会
- ・日時、場所：令和3年5月27日（金）19:00～20:30 オンライン（ZOOM ミーティング）
- ・参加者：6名。
- ・内容：部員所属施設の運用状況について報告と質疑応答、参加者間の意見交換を行った。

2) その他

- ・制度関連情報を会員に提供した。

<規約委員会>

- 6/7 ・委員の役割分担を検討した。
 - ・第16回総会および第2回理事会の決議に基づき、諸規程の変更点を確認した。
規約集 組織図、諸規程の一部変更
- 6/17 ・申し合わせ事項を確認し、精神科作業療法推進委員会の職務内容の作成を依頼した。

<倫理委員会>

R6.6.18 第1回倫理委員会実施

- ・前回委員会（2021年12月）以降、倫理問題に関する相談やHP掲載情報に対する倫理的検討依頼はなかった。
- ・ハラスメント防止に向けた研修会（2022年6月25日開催）について段取り等を確認した。
- ・倫理問題相談窓口の在り方や相談方法について意見交換を行い、倫理相談窓口開設に向けての課題や今後のスケジュールについて確認した。

<選挙管理委員会>

<災害対策委員会>

3月13日（日）第8回青い森 JRAT 運営委員会へ参加

現在各年度の分担金が1万円となっているが、今後増額に関してご検討して頂きたいとのこと。後日文書にて増額に関しての依頼が来る予定。

<地域作業療法推進委員会>

(1) 研修会の開催について

「地域包括ケアシステムアドバンス研修会～地域ケア会議～」

日時：2022年6月5日（日）9:30～16:30

場所：オンライン

参加者数：5名（事業参画未経験者3名、経験者2名）

(2) 多職種連携ミーティングについて

昨年度までは各市町村の地域支援事業担当者を対象としていたが、作業療法士の取り組みを広く知ってもらうために、介護支援専門員も追加対象とした。そのため、青森県介護支援専門員協会の各支部にも案内を送付した。

(3) 弘前市福祉部介護福祉課との意見交換

日時：2022年5月24日（火）14:00～14:40

出席者：平川裕一，上谷英史

内容：弘前市福祉部介護福祉課 課長補佐兼自立・包括支援係長 兼平光紀氏および自立・包括支援係 北畠嗣巳氏と弘前市地域支援事業について意見交換した。介護支援専門員へのケアマネジメント支援の事業化について働きかけたところ、検討されることになった。

<認知症の人の生活支援推進委員会>

<弘前>

1) 5月21日「認知症の人と家族のつどいin弘前」参加（工藤）

<八戸>

1) 認知症作業療法の普及・啓発活動実施（第3回 認知症スタンプラリー）

・日時：2022年5月15日（日）10:00～15:00

・場所：八戸ポータルミュージアムはっち

・運営委員：認知症委員（八戸ブロック）7名と八戸ブロック内の会員14名

・参加者数：140名

2) 認知症の人と家族の会のつどい参加

・日時：2022年6月18日（土）13:30～15:00

・場所：八戸市介護予防センター

・参加者：笹原秀平（東北メディカル学院）

3) 『はちのへ認知症フォーラム』

・主催（認知症の人と家族の会青森県支部）より協力依頼

・2022年10月23日（日）開催予定

4) その他

・第32回東北作業療法学会にて、当委員会の活動報告として演題登録をした

<青森>

活動無し

<西北五>

1) 五所川原市認知症フォーラム参加予定 (西北五ブロック共催企画)

日時 ; 2022 年 9 月 23 日 (金) 13:00~16:00

場所 ; 五所川原市ふるさと交流センター (オルテンシア)

・ 6 月 22 日 認知症フォーラム実行委員会議出席 (工藤啓太)

<上十三>

1) 5/12・6/9 十和田市認知症初期集中支援チーム員会議参加 (小笠原牧)

4/28 認知症初期集中支援チーム検討委員会参加 (関橋)

2) 7/9 認知症サポーター養成講座開催予定

<下北>

1) 認知症初期集中支援事業

活動無し (東通村)

2) 認知症スタンプラリー (八戸ブロック) 視察、情報収集

5 月 15 日 1 名 (堀内) 参加

<特別支援教育関連参画推進委員会>

◎委員会主催勉強会・研修会

6 月 18 日 (土) 10:00~12:00

講師 : 秋元真樹子 (青森県立あすなろ療育福祉センター)

テーマ : 学童保育と作業療法の連携 ~OT の視点から子どもを理解しよう~

参加者 : 8 名

◎訪問支援 (昨年度からの継続支援)

・ 5 月 18 日 (水) 15:30~17:10 弘前第一養護学校 訪問支援 (リモート) 派遣 : 秋元

・ 7 月 4 日 (月) 13:00~16:30 弘前第二養護学校 訪問支援 (対面) 予定 派遣 : 秋元

* 上記 2 件は、訪問支援 2 回 講師依頼を含めての依頼

12 月 弘前第二養護学校 訪問支援 (対面) 予定

◎講師依頼

・ 7 月 15 日 (金) 10:00~12:30 依頼元 : 青森市子育てサポートセンター連絡協議会

テーマ : 作業療法士さんにきく ~できたを増やそう~ (対面)

青森市 中央市民センター

派遣委員 : 秋元 (青森県立あすなろ療育福祉センター)

・ 8 月 22 日 (月) 13:00~15:00 依頼元 : 弘前第一養護学校

テーマ : 集中力・不器用を考えよう (内容未定)

・ 9 月 29 日 (木) 依頼元 : 弘前第二養護学校

テーマ：訪問支援を受けて内容未定

派遣委員：秋元（青森県立あすなろ療育福祉センター）

◎特別支援教育関連参画推進委員会

- ・各ブロックでの委員選出
- ・認定システムを構築し、支援への対応可能な会員の育成に努める
育成につながる研修内容とプログラムの検討をすすめる事を目的とする。
- ・周知活動(関連機関)の再開
コロナ禍で中止になっていた関連機関(教育委員会や行政など)への周知を検討する。

<精神科作業療法推進委員会>

6/17 第1回会議 8名参加

1. 委員会体制
2. 委員会設立経過説明
3. 事業計画
4. 予算案
5. 委員会活動意見交換

<第32回東北作業療法学会実行委員会>

第32回東北作業療法学会進捗状況

演題数：61演題

アップデートセミナー(教育講演)21講座

シンポジウム：準備中(6月5日収録予定)

参加費：東北学会員 5000円

東北学会員以外の日本作業療法士協会員かつ都道府県作業療法士会会員 5500円

上記以外の作業療法士 17000円

他職種 5500円

学生会員(作業療法士を除く) 1000円

参加受付開始 5月9日

【各県の参加登録状況 R4年6月24日現在】

青森県：117名

岩手県：30名

秋田県：22名

宮城県：26名

山形県：29名

福島県：33名

東北6県以外からの参加者：18名

毎週金曜日に評議員ならびに各遣使会事務局に報告予定

3. 各ブロック活動報告

<弘前ブロック>

昨年度内諾を頂き、10月29日（木）に開催予定であった大鰐小学校での小学生作業療法体験に関して、大鰐小学校から今年度は開催が難しいとの連絡があった。

現在、小学生作業療法体験に関する代替案を検討中。

<八戸ブロック>

八戸ブロック 6/9（木）第1回ブロック会議をオンラインにて開催。今年度のブロック委員と事業計画の確認及び担当分けを実施。

小学生向け作業療法体験の準備。

<青森ブロック>

5/11 症例検討会（WEB） 発表者2名、聴講者8名、計10名

6/9 第2回ブロック会議（WEB） 7名参加

- ① 理事会報告
- ② 臨床研修会について
- ③ ブロックメーリングリストについて
- ④ 啓発活動について

6/18 臨床研修会（WEB） 参加者 29名

啓発活動について

7/23 に開催予定だった高校生向けの啓発活動について、各校よりコロナにより参加が難しいと返答があった。青森明の星高等学校 JRC 部より企画の提案があり、デイサービスの訪問に同行し、その内容について校内で発表してもらう予定。

<西北五ブロック>

・5/24 啓発活動に向けての会議を実施（オンライン 4名）

※高校生向けの啓発活動として、協会作成のOTパンフレットを50部請求した。

・6/3 木造高校進路指導室へOTパンフレット50部を配布した。

・6/7 第二回西北五ブロック会議を開催（オンライン 7名）

- ・6/22 認知症フォーラム実行委員会議出席（工藤啓太）
※2022年9月23日（金）13:00～16:00 五所川原市認知症フォーラムへ参加予定
（認知症の人の生活推進委員会と共催企画）

<上十三ブロック>

- 5月30日、オンラインにて小学生職業体験に関する会議開催（3名参加）
 - ・対象学年の最終決定と、郵送先の学校の決定
- 6月2日、オンラインにて第1回ブロック会議開催（8名参加）
 1. 理事から報告事項
 - ・理事会報告及び今年度の活動について
 2. 協議事項（ブロック活動）
 - ・2022年度活動について 各担当より
 3. 各委員から報告
 - ・地域作業療法推進委員
 - ・認知症の人の生活支援推進委員
 - ・特別支援教育関連参画推進委員
 - ・災害対策委員
- 6月13日、オンラインにて小学生職業体験に関する会議開催（3名参加）
 - ・学校宛ての文書（依頼文書と職業体験のお知らせ文書）の内容の確認
 - ・一日保険の申し込み期限について確認
- 6月26日、小学生職業体験に関する必要物品の買い出し予定（3名参加）

<下北ブロック>

6月12日の研修会を延期

→下北圏域で感染拡大あり。実技があり対面での開催としていた為、延期とした。
今年度内で調整することとし、状況によってはオンラインでの開催も検討する。

4. その他

<県商工労働部新産業創造課との意見交換（Web会議）>

日 時：2022年5月11日（水）13:00～13:50

出席者：平川裕一

内 容：青森県商工労働部 新産業創造課 主幹 太田朗史氏、青森県臨床工学技士会
会長 後藤武氏、事務局長 福土王菊氏、青森県理学療法士会 会長 古木名寿
登氏と令和4年度新産業創造課主催「医福工連携勉強会」の開催に向けて意見交
換した。

<県医師会健やか力推進センター推進協議会>

日 時：2022年5月12日（木）15:00～16:30

場 所：東奥日報新町ビル New's T0-0

出席者：平川裕一

内 容：青森県内の各団体と健やか力推進について意見交換した。

<OT 協会生涯教育推進担当者会議>

日 時：2022年5月26日（木）

出席者：小枝周平

内 容：第一回生涯教育推進担当者会議に参加

各県担当者の顔合わせと現行教育制度の確認、業務内容の確認

※今年度から新生涯学修制度 WG（推進担当者内から選抜、仮称：初任者 e 研修検討会）の構成員を打診され、お引き受けすることとしました。オンライン会議が月 1 回のペースで行われます。

<OT 協会地域包括ケアシステム推進委員会第 1 回地域支援事業への参画推進のための WEB 研修会>

日 時：2022年6月2日（木）19:00～21:00

参加者：菩提寺玲子，平川裕一，金谷圭子，阿世知知子，米村和貴

内 容：

1. 開会（三浦前委員長）19：00（1分）
2. 協会長からの挨拶（中村春基会長）19：01（5分）
3. 担当理事挨拶
地域支援事業の現状と OT のあるべき姿（佐藤理事）19：06（5分）
「第 4 次 5 ヶ年戦略（2023～2027）と組織再編に向けて」（谷川理事）19：11（10分）
4. 新委員長、副委員長、新メンバー、既存メンバーの紹介 19：21（9分）
5. 2022 年度の活動方針・事業計画・年間スケジュール 19：30（5分）
活動方針、事業計画、事業計画（辰己委員長）
年間スケジュール（若林副委員長）
6. 地域共生社会と OT に関する情報発信（佐藤理事）19：35（15分）
7. 奈良モデルの紹介（辰己委員長）19：50（5分）
8. 【グループワーク】19：55（40分）
地域包括ケアシステムに寄与するために 1700 の市町村ごとに OT ニーズを捉え、参画を推進するための GW
9. ブロック別報告 20：35（10分）

10. まとめ（担当理事）20：45（5分）

11. 閉会 の挨拶（山本伸一副会長）20：50（5分）

<第1回青森県リハビリテーション3士会合同研修会事業報告会（Web会議）>

日 時：2022年6月7日（火）19:00～19:50

出席者：三橋武信，原長也，菩提寺玲子，平川裕一，金谷圭子

内 容：

研修会開催までのスケジュールと総括

決算報告と総括

アンケート結果報告と総括

<OT協会第1回47都道府県委員会（Web会議）>

日 時：2022年6月11日（土）9:00～15:15

出席者：三橋武信，大塚基永

内 容：

委員長挨拶、オリエンテーション

2022年度47委員会運営委員紹介、新委員の紹介

中村会長挨拶

第4次5か年戦略最終報告

【協会⇔士会】（仮）全国作業療法士連携協議会（よんぱち）規定案について
倫理事案受理後の事務処理の流れと関係書類の作成・送付について
倫理事例集の目的について グループワーク

【協会⇒士会】

○学術部 学会参加費について

○教育部 臨床実習指導者講習会の報告とお願い

○教育部 協会の方針や最新情勢を対面で会員に伝える研修会報告

○障害のあるスポーツ参加支援推進委員会

○MTDLP室 実践者研修について

【士会⇒士会】

○感染症収束後の高齢者施設等へリハビリ専門職派遣事業の開始について
まとめ・あいさつ

<OT協会2022年度第1回MTDLP全国推進会議>

日 時：2022年6月22日（水）19:00～21:00

参加者：金谷圭子，平川裕一，藤嶋聖子，松森和義

内 容：

あいさつ
 マニュアルの改正点
 研修及び臨床で使うシートとその考え方
 指導者の活動について
 意見交換；グループワーク（テーマ：指導の実践における課題）
 意見集約（2 グループ）
 情報連携ツールについて
 推進シート（令和3年度実績）の結果報告について
 今年度計画について・総括

【協議事項】

1. 部長・委員長・ブロック長の選任について

	部・委員長	担当（第2回理事会にて承認済み）
学術部	成田 秀美	田中 真
教育部	今井 寛人	小枝 周平
広報部	工藤 誉子	上谷 英史
福利部	佐藤 ちひろ	安原 清文
制度対策部	松森 和義	笹原 秀平
規約委員会	齋藤 信一	算用子 暁美
倫理委員会	後藤 彰節	小山内 啓
災害対策委員会	西村 信哉	三橋 武信
地域作業療法推進委員会	金谷 圭子	菩提寺 玲子
認知症の人の生活支援推進委員会	笹原 秀平	大塚 基永
特別支援教育関連参画推進委員会	小枝 周平	秋元 真樹子
精神科作業療法推進委員会	佐々木 良範	佐々木 良範
選挙管理委員会	泉田 康志	—

	ブロック長	担当（第16回総会にて承認済み）
弘前ブロック	成田 旬生	西村 信哉
八戸ブロック	泉田 康志	慶長 孝太
青森ブロック	佐々木 潤	佐々木 良範
西北五ブロック	工藤 啓太	天坂 宗一朗

上十三ブロック	太田 康介	新谷 亨
下北ブロック	浜中 理美	落合 利香

承認された

2. 定款の変更に伴う諸規程の一部変更について（規約委員会）

(1) 会計処理規程について

承認された

(2) 学会運営規程について

承認された

3. 精神科作業療法推進委員会の職務内容について（精神科作業療法推進委員会）

承認された

4. OT 協会との「会員の個人情報の取り扱いに関する覚書（改訂案）」の締結について（三役）

承認された

5. 県士会での ZOOM 所有について（笹原理事）

継続審議

6. 今後の活動について

継続審議